

研究協力をお願い

藤が丘リハビリテーション病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

回復期リハビリテーション病院における口腔機能管理の実態調査

1. 研究の対象および研究対象期間

2021年1月1日から2025年12月31日までに藤が丘リハビリテーション病院の入院中に歯科受診をされた患者さん

2. 研究目的・方法

高齢者は脳血管疾患や骨折等の急性疾患に罹患することが多く、急性期治療中に廃用も生じやすいため、急性疾患治療後の回復期リハビリテーションが重要です。回復期リハビリテーションは、退院後の自立した在宅生活を見据えて、身体機能・日常生活動作の向上、摂食嚥下リハビリテーション、栄養状態の改善等が行われます。口腔の健康は全身の健康とも関連するため重要です。入院期間中の口腔環境や口腔機能の維持・改善は、食物摂取の多様性確保や誤嚥性肺炎の予防などストレスフリーな経口摂取を可能にし、回復期リハビリテーションを円滑に進めるために重要と考えられます。入院時に高齢者の口腔環境・口腔機能歯列欠損や歯周病など口腔環境が悪化していることも多いとされ、特に義歯の問題が多いと推察されます。入院時から退院時までの口腔環境の変化について、回復期病院入院中の高齢者の口腔機能の実態や歯科治療ニーズについてはその詳細は不明です。

方法：診療記録より全身評価、口腔内評価等の情報を抽出します。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2027年 3月 31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録から、口腔の状態(歯式、咬合支持、義歯の状態、歯科治療内容等)、全身状態(意識レベル、ADL、FIM等)、栄養状態、摂食嚥下評価、患者背景(年齢、性別、身長、体重、診断病名、既往歴、現病歴、服用薬等)および臨床検査項目(血液、生化学、X線等)、リハビリテーションの実施状況等を調査項目とします。

5．外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6．研究組織

研究代表者 歯学部口腔健康管理学講座口腔機能管理学講座 古屋 純一

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属： 歯学部口腔健康管理学講座口腔機能管理学講座 氏名：古屋 純一

住所： 〒145-8515 東京都大田区北千束 2-1-1 4号棟 3階 電話番号：03-3787-1151